

地域の自然を守り、財産区の
伝統を継承するために――

旧大津村の旧島田市との
合併に伴い、昭和30年に創設
された特別地方公共団体の
大津財産区。大津財産区と
して山林などの財産を持ち、
管理や処分などを行ってい
ます。

【財産区の現状と課題】

大津財産区議会議長とし
て、5年目を迎える大畑さん。
大津地区のために、財産の保
全と若い世代への継承に取り
組んでいます。

「私が財産区の議員になった
時には、すでに木材が低迷して
おり、引き合いもほとんど無く
なっていました。また、土地を
貸すことも少なくなっていき
ました。本来の目的は、木材や
土地のやりとりから収益を得
て、地域に還元
することですが、
次第に地元民が
守ってきたもの
をどのようにし
て将来につなげ
ていけるかが役
目が変わって

いきました。山は人の手を加
えることで、治山・治水が可能
となります。議員の高齢化の
ため、管理道保全のための補修
や草刈りなど、できることは限
られますが、地域のために続け
ていきたいですね」

に、どのようにして原木ができ
るのかを学ぶ機会となってい
ます。子ども達から毎回、感謝
の手紙をもらえることがやり
がいの一つになっています。

また、これまでの財産区の
収益は、大津小学校の仮設校



島田市大津財産区 財産区議会 議長
おおはたしゅうじ
大畑修司さん(上野田)

【地域への伝承と還元】

「先日、大津小学校でしいた
けの菌打ち体験を行いました。
この取り組みは、20年近く続け
ています。子ども達は自然の
大切さを理解するためだけで
なく、しいたけの菌打ちのため

舎増築やベンチの寄贈などに
活用されました。これらの取
り組みから、昨年12月には、静
岡県教育委員会教育長から表
彰されました。地域への活動
が認められたようで、とても
うれしかったですね」

【未来を見据えた取り組み】

「議員の成り手も少なくな
り、高齢化も進んでいて、これ
までできていたことも徐々に
難しくなってきました。木の
枝打ちなど素人では難しいこ
とは、専門家に依頼するよう
になりました。ほかにも、マ
ウンテンバイクの団体が、山
の保全や道の修繕をしつつ活
動してくれています。その団
体としても、他者に危険が及
ばない場所で活動できること
はメリットであり、財産区と
しても山の保全につながるこ
とになり、上手く連携してい
きたいですね。お茶などの農
家も減ってきているので、新
しい需要に適応しながら未来
のために、財産区を残してい
きたいです。残す方法を考
えていきたいです。再び、家
などに木材が使用されること
を期待したいですね。

若い世代にも、私たちの活
動を通して、山の保全や自然
を大切にする意識を持ってほ
しいです」

地域との固い絆で自然を守
る大津財産区。伝統と新たな
取り組みは、きっと次世代に
受け継がれていくでしょう。



大津小学校で行った
しいたけ菌打ち体験
の参加者

Shimadajin File #145

Story 島田人